

病院緑化の最前線

緑化工学会 シンポジウム・見学会 | 予防医学時代における緑の役割 |

高齢化社会の現在、今後病院の利用機会や滞在時間が増加すると考えられる。よって、病院利用者の抱える不安や緊張などのストレスを軽減させる緑化が期待されている。しかし、病院は利用者や目的などが他の緑地と異なることから、「病院らしい緑化」が必要であると考えられる。厚生労働省が管轄している国立病院機構では、病院内に積極的に緑を取り入れる「ガーデンホスピタル構想」を発表した。しかし、それらが十分に浸透しているとは言い難い状況である。また、これまでの病院は治療の場という行為だけが注目されていたが、現在問題となっているメタボリックシンドロームなど生活習慣病の予防という観点から、健康を維持するための都市緑地として、新たな機能も期待されている。

このような背景から、本シンポジウムでは、病院および病院緑化、関連分野の専門家から話題提供していただき、病院緑化の現状と問題点を浮き彫りにし、今後の病院のあり方を「緑化」という視点から切り取り、予防医学時代の緑の必要性を社会に広くアピールするものである。

平成 20 年
8 月 8 日 (金) 13:00-16:30

会場：東京大学弥生講堂・一条ホール
定員：300 名（事前申込受付・資料代 1,000 円）
主催：日本緑化工学会

シンポジウムプログラム

- ①基調講演
「ガーデンホスピタル —病院づくりから まちづくりへ—」
厚生労働省大臣官房会計課施設整備室長 辻 吉隆
「病院の方向性と緑の役割」
千葉大学大学院工学研究科教授 中山 茂樹
- ②パネルディスカッション
パネラー (病院造園) (株)日建設計 森山 明
(病院緑化) 東邦レオ株式会社 梶川 昭則
(医療関係) 市川市リハビリテーション病院 小林 準
(地域計画) 清水建設(株) 那須 守
コーディネーター 千葉大学大学院園芸学研究科 岩崎 寛

見学会
8 月 7 日 (木) 13:00-17:00

見学場所：NTT 東日本関東病院 (五反田)、東急病院 (大岡山)
定員：20 名 (事前申込み必要)
内容：病院緑化の見学と設計、建築担当者による解説等
(集合場所等、詳細は参加申込者に直接連絡いたします)

事前申込および問い合わせ先
参加者全員の氏名、所属と連絡先 (E-mail、電話番号)、会員 or 非会員を明記の上、以下の連絡先にファックスまたはメールでお申込みください。
日本緑化工学会 企画・事業部会長 岩崎 寛 (千葉大学大学院園芸学研究科)
Tel&Fax 047-308-8969
E-mail iwai@faculty.chiba-u.jp